2020年10月１日発行　　第308号

Jsaa news
JAPAN SHIRTS APPAREL ASSOCIATION

編集・発行　（協）日本シャツアパレル協会
〒130-0021 東京都墨田区緑1-14-5　Tel 03(3631)9443(代)　Fax 03(3631)9441
大阪支部　〒541-0055 大阪市中央区船場中央3-1-7（船場センタービル 7号館2階 太陽繊維㈱内）　Tel 06(4708)8119(代)　Fax 06(4708)8139
名古屋支部　〒460-0003 名古屋市中区錦1-13-31（ミツワビル２Ｆ　ミツワ㈱内）　Tel 052(202)1151(代)　Fax 052(202)1152

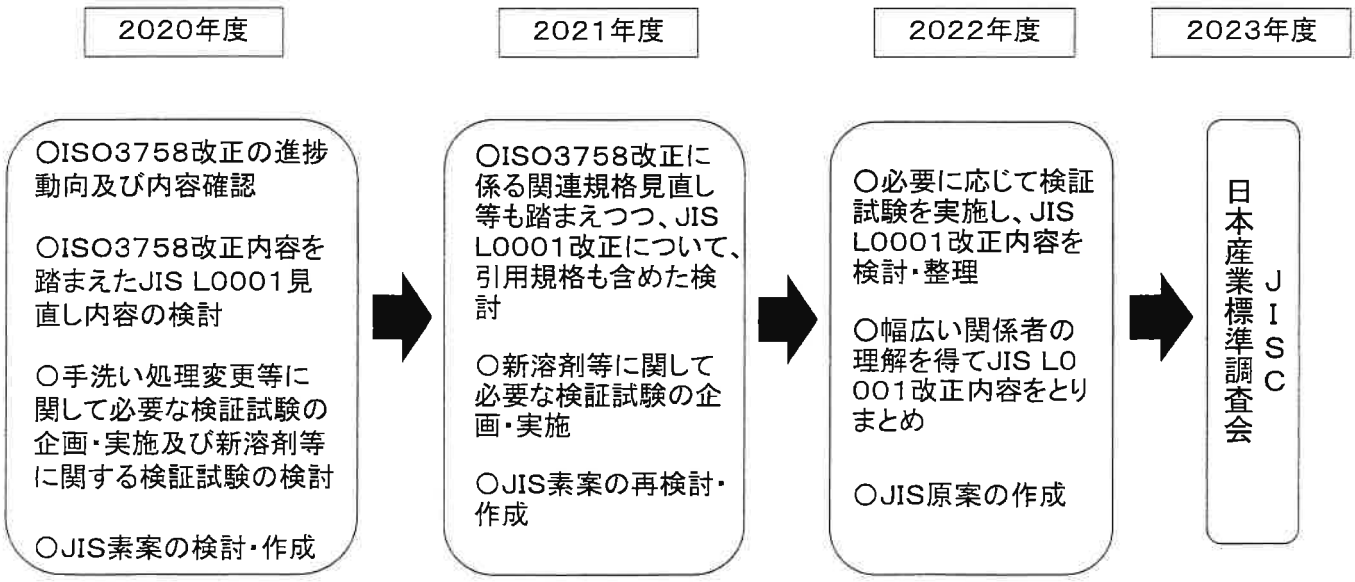
「繊維製品の取扱いに関する表示記号等に関するＪＩＳ開発」及び「繊維製品の形態安定性に係る画像解析試験方法に関するＪＩＳ開発」について

当組合では、「繊維製品の取扱いに関する表示記号等に関するＪＩＳ開発」及び「繊維製品の形態安定性に係る画像解析試験方法に関するＪＩＳ開発」について、標準化委員会の委員として委嘱されました。

つきましては、今後のスケジュール・事業の目的等の内容についてお知らせいたします。

１「繊維製品の取扱いに関する表示記号等に関するＪＩＳ開発」について

・全体スケジュール



・全体の事業目的・目標

繊維製品の洗濯等の取扱いに関する表示記号及び表示方法を規定したＪＩＳ Ｌ ０００１は、対応国際規格であるＩＳＯ ３７５８（Textiles-Care labelling code using symbols）との整合化等を目的として２０１４年に制定された。また、ＪＩＳ Ｌ ０００１は、「家庭用品品質表示法」等に引用され、生産・流通事業者はじめ一般消費者等へ大きく影響するものとなっており、適宜適切な見直しが必要とされている。

このような中、諸外国の要請によりＩＳＯ／ＴＣ３８／ＷＧ１２においてＩＳＯ　３７５８が改訂されることとなり、繊維製品の生産及び流通のグローバル化に対応するため、ＪＩＳ　Ｌ　０００１の早急な見直しが求められている。

一方で、ＪＩＳ　Ｌ　０００１の表示の変更は、上記法令により繊維製品にラベル表示を行う全ての繊維メーカー及び販売・流通事業者から、様々な繊維製品のラベル表示により洗濯等を行う消費者及びクリーニング事業者、試験機関に至るまで幅広い関係者へ多大な影響を及ぼすこととなり、洗濯時等における事故を引き起こすことのないように適切な見直し内容とすることが重要である。

このため、本事業においては、一般社団法人繊維評価技術協議会（以下、「繊技協」という。）が、ＪＩＳ　Ｌ　０００１の表示に関わる幅広い関係者の参加する委員会を設置し、国内における繊維製品の洗濯等の取扱い実態を踏まえつつ、ＩＳＯ　３７５８改訂内容との整合を図りながら、国内事情に適したＪＩＳ改正内容を検討、試験機関等における検証試験を行いつつ、ＪＩＳ改正内容を精査してＪＩＳ　Ｌ　０００１改正原案を１件作成し提出することを目標とする。

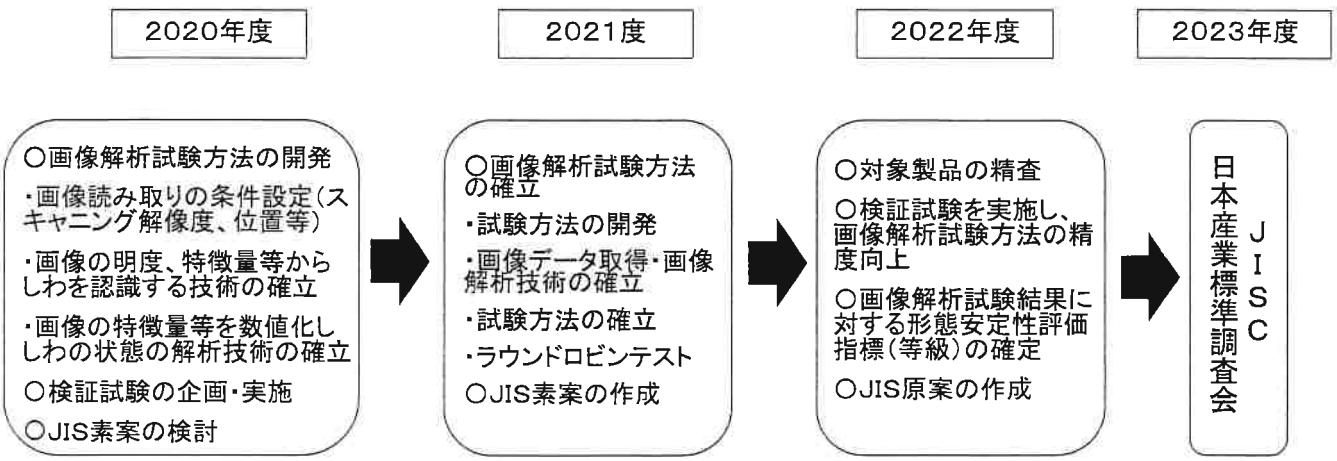
ＪＩＳ　Ｌ　０００１は、「家庭用品品質表示法」及び「繊維製品品質表示規程」に引用され、我が国における繊維製品は、ＪＩＳ　Ｌ　０００１に規定される表示を用いることとしている。

本事業により、ＪＩＳ　Ｌ　０００１が国内事情も踏まえつつＩＳＯ　３７５８との整合化を図ることで、国内における内外の繊維製品において洗濯等の取扱い表示の内容が同じとなり、繊維製品にラベル表示を行うメーカー及び販売・流通事業者においては繊維製品の取扱いを適切に情報発信できるものとなり、また、表示をみて洗濯等の取扱いを行う消費者及びクリーニング事業者等においても製品事故を未然に防止するものとなり、生産性及び利便性の向上につながり、経済的効果及び社会的効果は大きい。さらに、ＪＩＳとＩＳＯ規格の整合化により繊維製品の表示の切り替え等を不要とし、繊維製品の流通の円滑化、海外市場拡大に資するものと期待される。

本事業は、ＪＩＳ　Ｌ　０００１の表示について国内事情を踏まえつつＩＳＯ　３７５８と整合化することにより繊維製品の洗濯等の取扱いを適切に行い、事故を未然防止するものであることから、ＫＰＩは繊維製品の洗濯事故等の件数を設定し、継続的に把握する。

２「繊維製品の形態安定性に係る画像解析試験方法に関するＪＩＳ開発」について

・全体スケジュール



・全体の事業目的・目標

我が国の繊維製品は、高機能化・高品質化により製品の差別化、競争力強化を図っており、特に我が国高機能繊維製品の中でもワイシャツ市場においては、形態安定シャツが８割のシェアにまで拡大しており、その特性評価が極めて重要なものとなっている。

一方、形態安定シャツの性能評価については現在、洗濯前と洗濯後のしわの状態を試験員が目視で判定することが多く、結果にバラツキが生じることがある。また、目視による試験判定は、試験の多様化・高度化に加えて技術の練度向上・伝承の難しさ、試験員の確保の難しさ等の問題が生じている。

このため、本事業は、目視により評価・判定している現在の試験方法に代わり、シャツ生地の洗濯前後の画像をデータ化して、しわの状態を解析・判定する技術を開発し、試験員の目視判定と同様な試験方法（以下、「しわ画像解析試験方法」という。）としてＪＩＳの原案１件を作成し提出を図るものである。

形態安定シャツ等の洗濯前後における生地のしわの状態を、画像解析で判定する試験方法が確立されＪＩＳ化することにより、従来の目視判定に代わり画像解析による判定の導入が推進され、特性評価のバラツキ低減、消費者・販売事業者等における製品評価に対する信頼性向上につながり、特性をより的確かつ明確化して安心ある繊維製品の販売促進、競争力強化に資するものと期待される。

また、繊維製品の画像解析により判定する試験方法の導入は、試験機関においては目視判定にかかる試験員確保の難しさや育成に要する時間・コスト等の課題解決につながり、繊維メーカー及び販売・流通事業者においては製品評価を外部依頼する際に製品の移送から画像データのやりとりに代わることで業務の迅速化・効率化につながるものとなり、製品試験分野の情報化の進展が多大な作業工程を変えていく新たなビジネスモデル創出にも資するものと期待される。

本事業は、高機能性繊維製品である形態安定シャツの特性評価を信頼あるものとして販売促進が期待されることから、シャツにおける形態安定シャツのシェアをＫＰＩとして設定し、継続的に把握する。

消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入について

令和元年10月１日から、消費税率の引上げと併せて軽減税率制度が実施されました。

軽減税率制度の実施に伴い、令和５年10月１日から消費税の適格請求書等保存方式（いわゆるインボイス制度）が導入されることになっております。インボイス制度は、事業者の消費税額の計算や取り交わされる請求書等に関するものであることから、多くの事業者の皆様に制度を理解していただき、準備や対応を行っていただく必要があります。

詳細につきましては、次号以降、掲載させていただきます。

第三回ＪＳＡＡ懇親ゴルフ会延期のお知らせ

第三回ＪＳＡＡ東京地区及び大阪支部懇親ゴルフ会につきましては、昨今の新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、延期することと致しました。

会　議　要　旨

≪７月度役員会≫

（１）第67回通常総会報告

理事長より、第67回通常総会につき報告が行われ、詳細については、事務局長より説明が行われた。

（２）第三回ＪＳＡＡゴルフ大会について

第三回ＪＳＡＡゴルフ大会開催について、昨今の新型コロナウイルス感染状況を踏まえ延期することとした。

（３）次回役員会日程

2020年10月22日（木）12：00～　於　協会会議室

（４）その他

①夏期休暇について

夏期休暇については、８／12（水）～８／14（金）の提案があり、了承された。

②来年度総会日程の件

来年度総会日程について、2021年５月25日（火）に決定した。

③ＫＦＣセミナーについて

ＫＦＣセミナーについて、現在の受講者状況の説明が行われた。

気になった記事

◎繊研新聞「め・て・みみ」

百貨店でＮＢの撤退が本格化する。オンワード樫山は昨秋に600店舗の閉鎖を発表。レナウンは５月に経営破綻した。中小規模のアパレルメーカーでも不採算店・ブランドの撤退が相次ぐ。百貨店は新型コロナウイルス危機による売り上げ、客数の減少に加え、アパレルの構造不況という二重苦に直面している。

「夏のセールが終わる８月末で撤退することを通告された」と、あるＮＢについて地方百貨店の幹部が話す。すでに交渉の余地がなく、一方的に最後通牒をつき付けられた形だったという。婦人服、紳士服ともにエスカレーター周りの売り場一等地の複数ブランドが空くことになり、「すぐに代替ブランドを入れることは無理」と頭を抱える。

百貨店にとって、衣料品は収益源であることに変わりない。しかし、百貨店とアパレルメーカーの取引関係は大量生産、大量販売による相互依存の関係からいまだに脱せずにいる。建値消化率は50％を割り込み、必要量以上の物作りを続けて在庫過多に陥る構造が続いている。

負の連鎖を断ち切るには顧客起点のサプライチェーンを再構築する以外にない。マーケティングを徹底し、顧客の顕在・潜在需要を掘り起こし、取引先と情報共有しながら自店の顧客に適した商品を提供することだ。ブランドの入れ替えだけで今の苦境は乗り切れない。

協会の動き（7～9月）

［７月］

1　ＪＳＡＡニュース307号発行
2　新会員ウインスロップ㈱訪問
13　第９回繊維産業技能実習事業協議会（経済産業省）
16　７月度役員会（協会会議室）
17　国土交通省来協（国道14号拡幅関係）
20　日本繊維産業連盟来協（協会会議室）
28　繊維評価技術協議会（表示記号等に関するＪＩＳ開発）
30　繊維評価技術協議会（形態安定画像解析に関するＪＩＳ開発）

［８月］

12～14　夏期休暇
26　衆議院議員訪問（衆議院第一議員会館）
26～　ＫＦＣトレンドセミナー（国際ファッションセンター）

［９月］

1　繊維評価技術協議会技術分科会（形態安定画像解析に関するＪＩＳ開発）
4　厚生労働省訪問
～８　ＫＦＣトレンドセミナー（国際ファッションセンター）

お知らせコーナー

◎10月度役員会

日　時：10月22日（木）
場　所：協会会議室

◎毎年10月の第一日曜日は「シャツの日」です。

今年は４日です。

◎次号309号は、来年１月１日発行予定です。